

湿原の植物と保全



エゾカンゾウ

湿原は、陸上生態系の中でも、水に浸された特殊な環境であるため、そのような環境でしか生息できない貴重な植物が数多く見られる。
冷温帯以北では、冷涼な気候により落葉落枝の分解が遅く泥炭と呼ばれる土でもなければ植物でもない未分解物が厚く堆積している。
しかし...湿原面積は減少の一途を辿っている。



サワギキョウ



タテヤマリンドウ

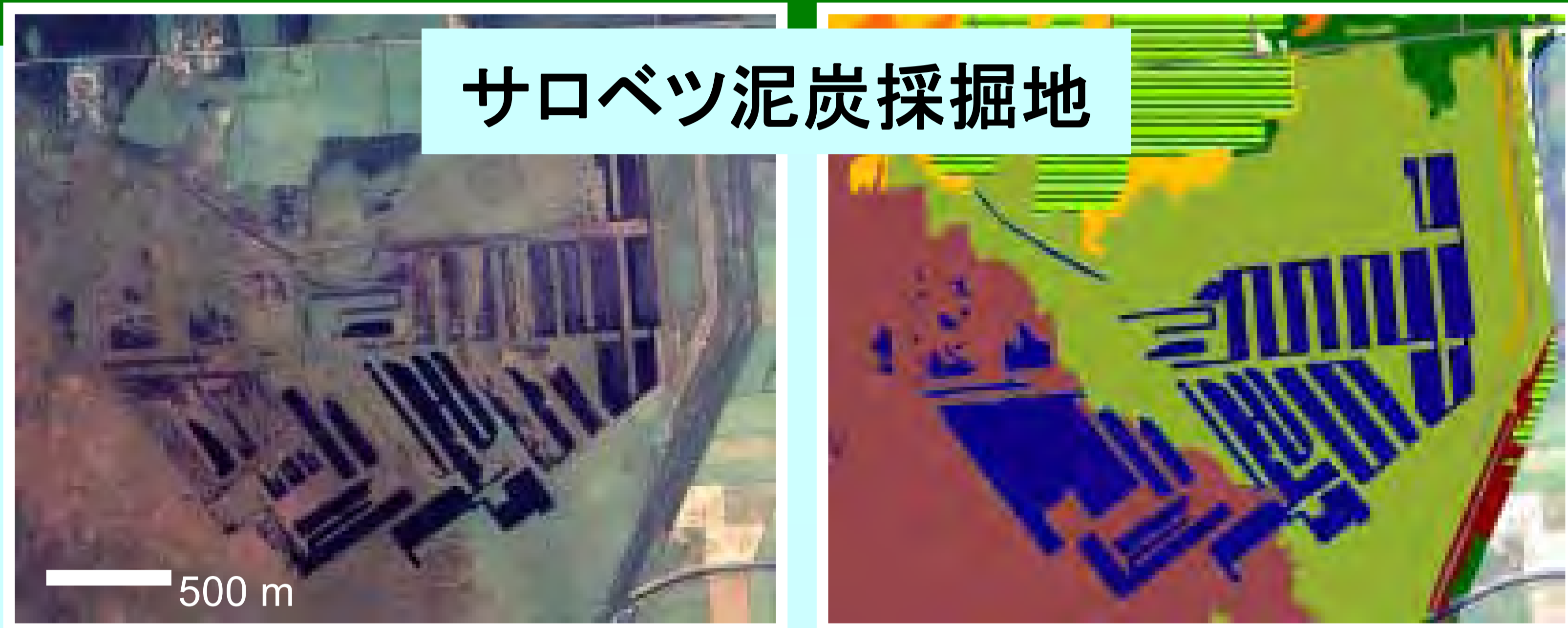


ワタスゲ



ナガバノモウセンゴケ

サロベツ湿原における代表的植物



サロベツ泥炭採掘地

2000年航空写真

■ 泥炭採掘地(約150 ha)

湿原環境の劣化
農耕地化 + 温暖化?
泥炭採掘

ミズゴケ泥炭は、燃料や園芸に幅広く利用されている。そのため、世界各地のミズゴケ湿原で泥炭採掘が続いている。

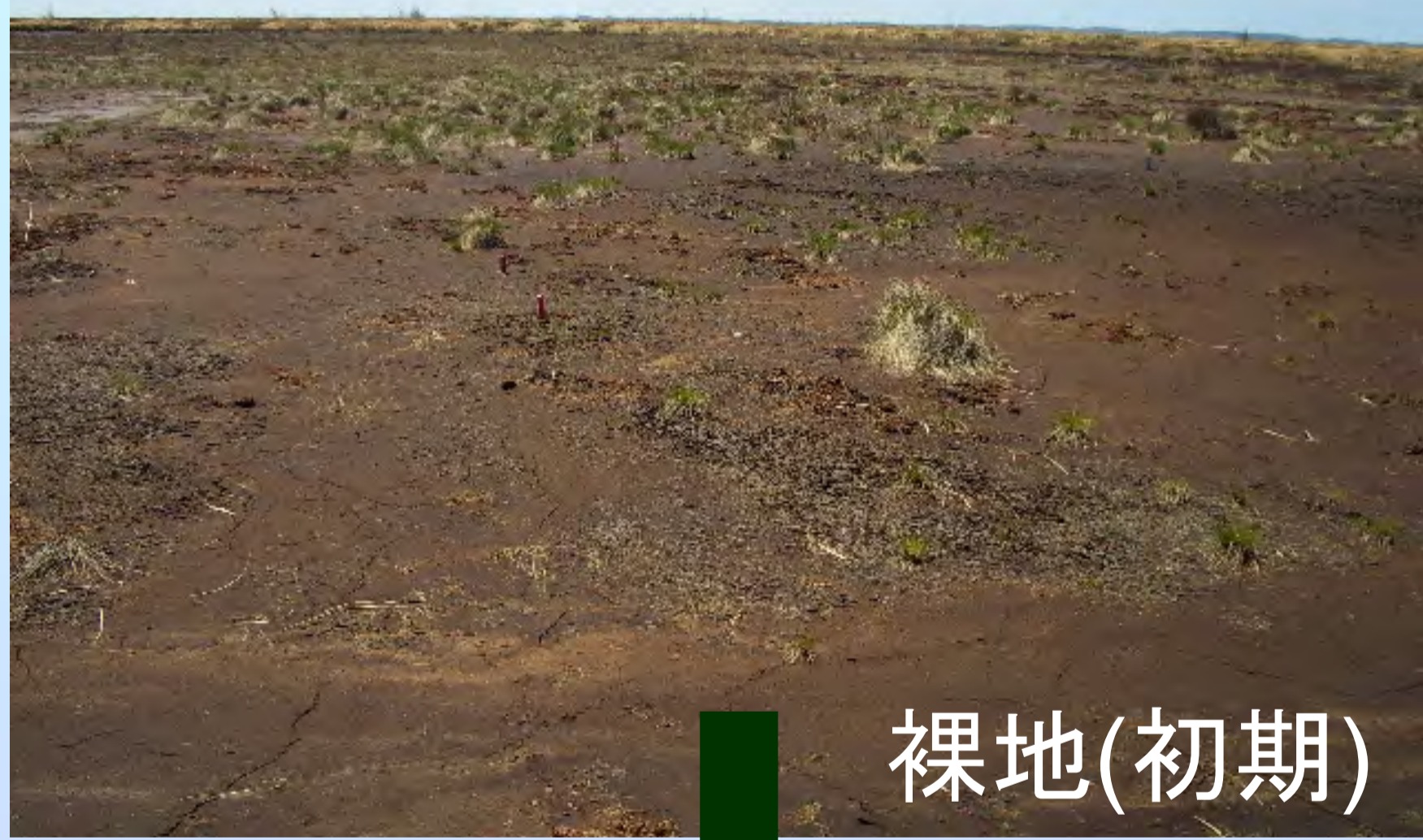
サロベツでは、1970年からミズゴケ泥炭採掘が約30年行われていた。

回復促進の鍵を探す

湿原減少 = 貴重種生息地減少

(保全・復元のためには) まず現状を把握することが必要不可欠

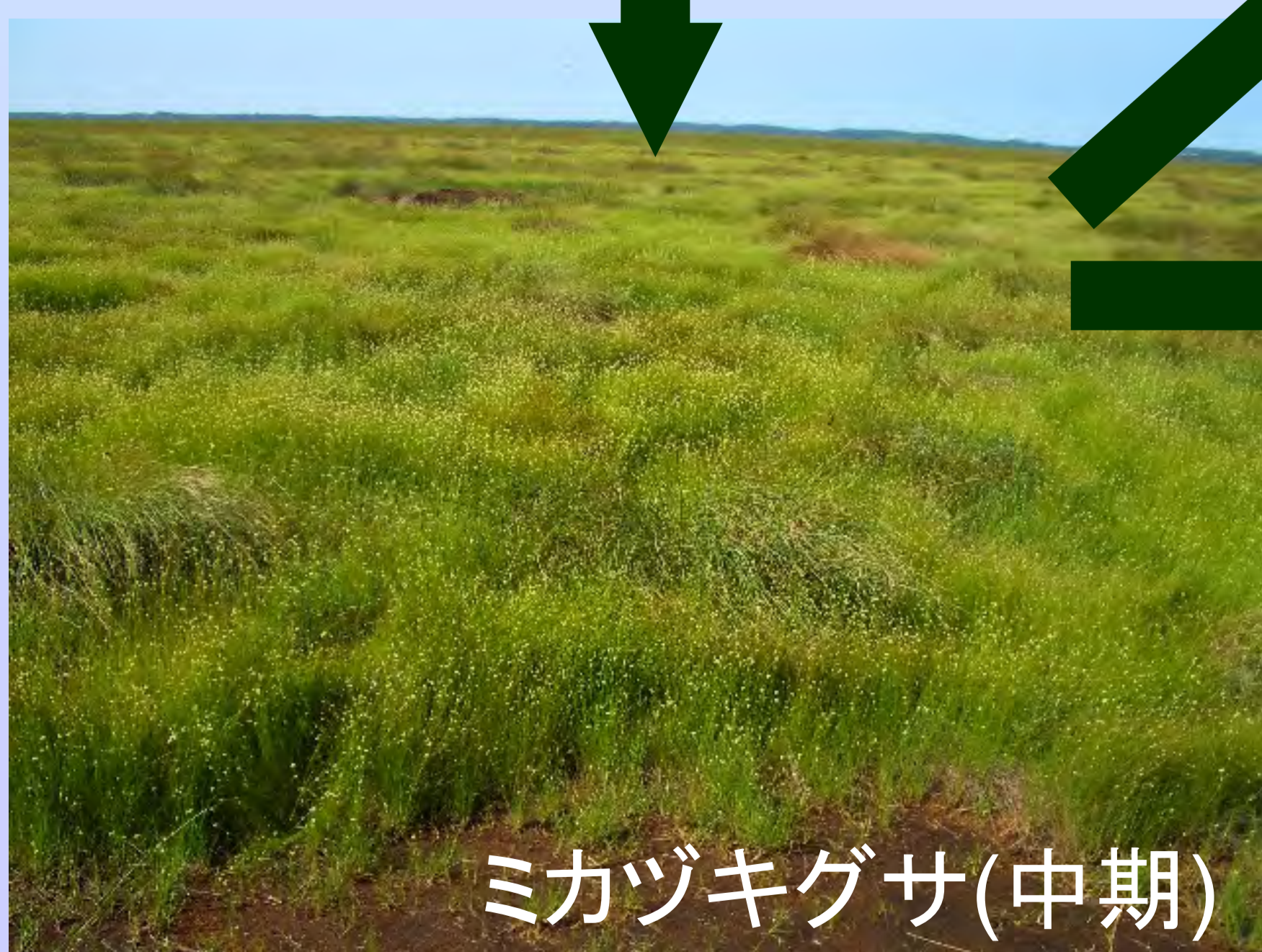
1. 遷移系列推定



裸地(初期)



ヌマガヤ(後期)



ミカヅキグサ(中期)



ヨシ(アシ)(後期)

2. 植生分化環境要因抽出



ミズゴケの成長測定
地表面に置いた金属の回りに見えるブツブツしたのがミズゴケ
最終的には、ミズゴケの定着要因が明らかになることが肝要である。